

E班 みんなが主役に！好きを大事に！

メンバー：加藤あずみ 服部くるみ 馬場侑真 池永侑生

動機

皆さんは「好きな〇〇」を持っていますか？
E班のメンバーは、自分の好きなものを語る時、とてもキラキラした目で熱く語ります。安心して自分の好きなものについて話せる場所、聞いてもらえる場所、誰かの好きなものや知らない世界を知れる場所があると、誰もが目をキラキラさせられるのでは！？と考え、そういう場作りをしたいと思ったからです。

過程

まず、メンバー間で、お互いの好きなものについて紹介し合いました。好きなものを話して聞いてお互いの距離が少し近づいた一方で、実際に話してみると案外緊張するということが分かりました。気楽に好きなものを語れる空間にするため、ペアやチームごとに部屋中に隠されたミッションを動き回ってたくさん話してクリアしていくゲームにしました。ゲームの進行に使うスライドやミッションのお題など、分担して準備しました。



成果

10代 20代のこなんSDGsカレッジのメンバーが10人ほど参加してくれて、年齢や性別など関係なしに、ミッションをクリアする中でお互いの好きなものを共有してもらうことができました。参加者に事前に「家にある、いらないけど誰かは喜んでくれるかもしれないもの」を持ってきてもらって、それをゲームの景品にしたのも、参加者がお互いの意外な面を知ったり、会話のきっかけになったりして、参加してくれたみんなの笑顔が沢山見れました。

感想

自分たちで計画してゲームを企画して、進行して人を動かすのが初めてだったので、難しいこともあったんですが楽しさの方が大きかったです。

参加者が楽しそうにしている時に、「やって良かったな」という嬉しさがありました。

参加者同士がお互いの好きなものをゲームを通して共有することで、楽しみながら、それまでほとんど関わりがなかった人と人がつながるきっかけを作ることが出来たと実感しました。

参加者を集めることが思っていたより難しかったです。

傷ついたり、いやな気持ちになったりする人がいないかどうか少し心配していましたが、みんな楽しんでいて安心しました。

なにより、参加してくれた人の笑顔がたくさん見れて嬉しかったです。